

十神山



会報 安来節

YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

〒692-0064
島根県安来市古川町 534
TEL 0854-28-9988
FAX 0854-28-9393
http://www.y-hozon.com/
E-mail:admin@y-hozon.com

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された皆様へ

宮城県三陸沖を震源とした「東北地方太平洋沖地震」におきまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。被災地におかれましては、一刻も早く普段の生活に戻れますように皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。

安来節保存会 会長 近藤 宏樹

保存会創立一〇〇周年

を迎えて



副資格審査長

三代目 安達 順吉

(本部道場)

保存会発足一〇〇周年の節目に当り、筆を取らせて頂きました。

百年以上の長き歴史を刻んできた安来節とその先人の偉大さに感動を覚え、当時の愛好者に信念を感じ保存会に入会しました。

安来節は、保存会が発足してまもなく大正時代に全盛期時代を迎え、郷土芸能が都会に進出し、喝采を浴びるのです。

その頃から海外にも出て活躍しました。その後、昭和になり競争を向かえ、保存会の活動は一時中断をよぎなくされました。

終戦後の昭和二十四年に保存会復活大会が安来小学校(現・十神小学校)の講堂で開かれ、大盛況でした。私もこの時から大会に出場し、安来節を本格的に始める原点になりました。

その年に戦後初の優勝大会もありました。その後、優勝大会参加者が増え、日程が二日間から三日間になり、会場も安来市民会館から安来市民体育館に移し、現在に至っております。

この頃より次の世代を担う少年部も導入され、私も微力ながら少年を育てました。現在、会員の中で若年として頑張っております。

平成十八年には安来節演芸館が建ち、毎日安来節公演をして普及宣伝に力を注いでおられます。通常公演以外にも少年部の発表会や若手グループの公演等に会場を開放され、安来節演芸館が建った意義があると存じます。

平成十六年に正式種目になった銭太鼓が安来節の銭太鼓として育って行くよう願うものです。

最後になりましたが、今まで安来節保存会の生き方が間違

いなく伝わって来たように本筋を守りながら正調保存に皆様

と一緒に頑張って行きたいと思っておりますので、御指導、御鞭撻

の程、よろしくお願い申し上げます。

安来節を唄った横山大観

大観・米華画伯、安来に逗留

並河 健蔵

横山大観と山岡米華という著名な日本画家が、山陰歴訪の途につき松江の宍道湖畔の松崎水亭(現・玉造温泉の「松の湯」)に投宿したのは、丁度一〇〇年前の明治四十三年の夏のことであった。

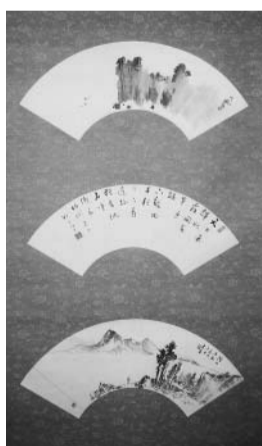
招待したのは当時、東京上野精養軒の支配人であった妹尾勇吉氏(島根県奥出雲町出身)や松江の画家・和田翠雲氏らである。当時としては画期的なニュースであったから、山陰新聞や松陽新聞は、丁重に米華記事の一面にのせている。

大観は中国(当時は清国)歴訪のあと、暫くして松江に滞在した折は、宍道湖を眺めながら、新しい画風の確立に心血を注いでいたのではなかったのか。新聞の取材記事によると、この機会に文部省主催の美術展への出品作を松江で描きたいと意欲を燃やしている。事実、大正時代に入ると、鮮やかな彩色の画風を展開し、さらに水墨画にも新境地を開いたのである。

松崎水亭での逗留で、宍道湖や出雲地方の心暖まる人情と穏やかな風情に、心が癒されたことであつたらう。また新時代を画するほどの画境を醸成することに役立ったものと考えられる。

さて、大観・米華の両画伯は、松江での六泊七日の行楽の後、鳥取県境港市渡の素封家・庄司邸に三泊し、再度松崎水亭に滞在した後、安来の素封家・原本大三郎氏に招かれて、同年九月五日に来訪し、原本邸に三泊した。

安来はご存知、安来節発祥の地であり、早速原本家の広い書院で、富田徳之助の三味線と初代渡部お糸の美声で安来節を聞いたのである。すで



扇面による掛軸
小舟と水亭を描いた
大観作。水亭は米華作。
(上) (下)

衰退の一途をたどった。従って安来節も衰えるのではな

いかに危ぶま

れていた。こ

れを知った大

観は、安来節に民謡の良さを認め、大いに振興させるための支援組織を早急に設けるべきだと強く勧めたのである。

時あたかも正調安来節を盛り上げようとする気運が高まっており、これに携わる関係者たちは、大観の勸奨に力を得て、翌、明治四十四年に安来節保存会を設立したのである。以来、正調安来節の継承と発展に努め、今年で百周年を迎えることになった。

に松江滞在中に存分に満喫したことであろうが、さすが本場の安来節に大観は深く賛嘆した。大観は感激のあまり、即座に十神山の麓から船が帆を張って中海に出て行く作品を描き、徳之助に与えたという逸話が伝えられている。

「白滝の水は夜昼落ちても浮名は立たぬ 女のあさまし一夜おちても浮名立つ」で、自分から進んで習い、唄ったそうである。三味と鼓の音で賑わう座敷で、相好をくずして唄う大観の風貌が、楽しく想像されるところである。

古来、交易港として繁栄した港の町安来は、明治四十一年に鉄道が開通したために、これまでの人や物資の交流が

衰退の一途をたどった。従って安来節も衰えるのではな

いかに危ぶま

れていた。こ

れを知った大

観は、安来節に民謡の良さを認め、大いに振興させるための支援組織を早急に設けるべきだと強く勧めたのである。

時あたかも正調安来節を盛り上げようとする気運が高まっており、これに携わる関係者たちは、大観の勸奨に力を得て、翌、明治四十四年に安来節保存会を設立したのである。以来、正調安来節の継承と発展に努め、今年で百周年を迎えることになった。

私と安来節



唄 准名人 古本明美 (津ノ井支部)

私の生まれ育った故郷は安来市に近... 鼓、尺八の音が聞こえて楽しそうに笑... 夫先生に「祭りの舞台に出て唄ってみ... 手ほどきを受け舞台に立ち、三位入賞... 賞品を頂き、両親がとても喜んでく... くれたのが子供心に嬉しくて唄を習おう... と思い、中井先生の所に時々通うに様... になりました。その頃はまだ少年の部... も無く、もしあれば当然保存会へ入会... していたと思います。やがて小学校へ

入学し、いつしか安来節も遠のいてし... まいました。その後、縁あって鳥取方面へ嫁ぎ、... 十年後の昭和四十九年秋頃、当時の津... ノ井支部長の故 田中末子先生との出... 逢いがあった主人と共に津ノ井支部に... 入会しました。その頃は民謡ブームで... 無資格者三十名程と翌年審査を受け、... 唄・絃二級、鼓三級となりました。そ... の後、唄は故 名人二代目出雲愛之助... 先生、絃は二代目安達順吉先生、鼓は... 故 砂川清先生に指導を受ける様にな... り、何事も基本第一でしっかりと身に... 付ける様に教わり、今でも感無量で... ございます。二代目安達順吉先生には... いつも優しくお声を掛けていただき、... とても嬉しく心より感謝の念で一杯で... す。

し、団体の部でも一度五位入賞があり... ますが、残念ながら師範の部・唄では... 一度も入賞した事が無く心残りでもあ... りました。唄い初め会の支部競演でも... 何度か入賞はありますが、ここでも二... 位まででもう少し努力して頑張れとの... 事かと反省しました。嬉しくも平成五年に唄で大師範昇格... 平成十六年には絃で大師範昇格と恵ま... れ、保存会入会三十六年目の今年も晴... れて唄の准名人昇格の栄位に背中を押... していただきました。諸先生をはじめ... 先輩の方々には御礼を申し上げ、初心に... 返り一層努力をし、保存会発展の為に... 微力ながら精一杯お役に立ちたいと思... いますので、以前にもまして皆様方の... 御指導の程よろしく御願ひ申し上げま... す。また今日まで何かと御協力いただ... き、支えていただきました支部長をは... じめ、会員の皆様誠にありがとうございました。この道を選んだ私のわがま... を理解して下さいました主人と家族に心... から御礼をさせていただきます。今後も温... かく見守っていただける様に頑張りたい... と思います。

私と安来節



唄 准名人 中尾俊介 (湖陵支部)

昭和五十一年に入会、初めての... の審査会で唄二級を頂きました。... 今思えば、昔私が子供の頃、民... 謡好きな母がいい声で唄っていた... 事を思い出します。多少でも... 民謡好きな所を受け継いでいる... かも知れません。仕事の傍ら趣... 味で習い始めた安来節も唄に始... まり、鼓、踊りと習って来まし... た。その間、色々な賞にも恵ま... れ、平成元年三月には二代目松... 尾英興を襲名致しました。この... 度、准名人に昇格出来ました事

加させて頂きました。私の人生に... 大きな関わりを持つ安来節は今後... も生きがいとして続ける事になる... でしょう。また新年早々、保存会発足百周年... の記念の年に唄の准名人という... 栄誉を賜りました。これも偏に... 師匠をはじめ、諸先輩方々の御指... 導、御鞭撻の賜と深い感謝と身の... 引締まる思いです。長い歴史に裏... 打ちされた技術や節回し、他の民... 謡とは異なる奥深さと魅力、また... 素晴らしい仲間に出会えたからこ... そ、今日まで続ける事が出来たと... 感謝しています。今後は先輩達の... 築かれた卓越した技と安来節の名... 声を汚す事無く皆様方と共に後世... に伝える役割を担うべく頑張りたい... と思いますので、宜しくお願ひ... 申し上げます。

准名人になって



鼓 准名人 濱崎正人 (静岡支部)

安来節の魅了にひかれ共に歩んで三十七... 年の私、今年も卯年の年男と同時に還暦の... 年を迎える事になり合わせて安来節保存会... が創立百周年という記念すべき年に鼓・准... 名人の身に余るご推挙を頂き、私にとつて... 一生忘れられない年に成りました。准名人... になって改めて自分自身の安来節人生を振... り返り見る事ができ、この名前の重さに責... 任を感じると共に身の引き締まる思いで一... 杯です。振り返り見ますと昭和四十九年二... 十二歳の時、松江支部に入会、まもなく初... 代高山保子先生の導きで玉造温泉にて、ま... た五年後小畑芸能社にて松江温泉に於いて... お座敷演奏に一生懸命の毎日でした。数多... くの先生、諸先輩の背中を見ながら安来節... の奥深さを感じつつ反面そこへチャレンジ... する楽しさも沸き、だんだんと安来節の道... へと進んで行ったのです。

一方では四代目渡部お糸一行にて全国又... 海外までも安来節公演に力を注ぎました。... メジャーになった安来節をどのように発展... 又展開して行くか考えさせられた期間でも... あったように思います。やがて私は平成十... 四年より指導部員に任命され、指導活動に... 専念する事になりました。師範研修を通し... て全国の会員の皆様の様々な意見を聞き、... 安来節五種目に対する指導の在り方、また... 指導部としての展開の仕方等、一員として... の責任を感じながら社会的にも人間的にも... 勉強させていただきました。平成十五年か... らは静岡に移住し、静岡支部を設立しまし... たが、安来節のゼロ地域での育てる難しさ... にも直面し、まず知っていたべく、好きに... なっていただく事から始めた事は自分の指... 導方針を大きく改革し、同時に指導に対す... る自問自答の毎日だったように思います。... 今こうして時の流れをしみじみと感じつつ... 准名人という名前の重さを胸に抱き、安来... 節を通してお世話になった方々への感謝、... また人間的にも多くの事を学ばせてくれた... 安来節に感謝すると共に准名人、指導部員... としての責任の重さを認識し、これからの... 安来節が正しく保存、継承又基本を中心に... 時代に即応した研究のもと安来節保存会全... 体の発展普及に貢献できるよう努力したい... と思っております。

私と安来節



唄 准名人 二代目 松尾英興 (松江支部)

私が安来節を始めたときつかけ... は三十六年前、当時住んでいた... 地域の運動会の慰労会で民謡を... 唄った時、同席の知人に誘われ

私と安来節



絃 准名人 富田とみお (仁多支部)

この度、絃・准名人に昇格さ... せていただき、身に余る光栄の... 想いであります。これも偏に諸... 先輩、支部の皆様方の御指導の... 賜物と深く感謝申し上げます。... さて私と安来節の付き合いは

幼少の頃から父が子守唄代わり... に唄ってくれた事もあり、小学... 校一年生の時に親戚の祝い座敷... で安来節を唄った記憶がありま... す。その時、おひねりを多くの... 親戚の方からもらい「唄ったら... お金がもらえるんだな」と思... いましたが以後は全くありません... でした。二十歳の頃、三味線... に興味を持ち、練習していまし... た。

より仁多支部開設の許可をいた... だし、三十名の発足で今日に至... っております。施設の慰問、各種... イベントの出演など積極的に参... 加しております。また会員同志... の親睦融和をモットーに日々努... めております。折りしも保存会創立百周年、... 三代目師匠生誕百年の記念の年... に昇格させていただきました事... は何か因縁めいたものがありま... す。

大小鼓製造卸販売 杉本鼓店 住所：島根県松江市馬潟町360-13 電話・FAX：0852-37-2033 E-mail：ks36013@web-sanin.co.jp ※通信販売も致しますので、お気軽にお電話ください。修理、下取りもご相談ください。

(有)仁木三味線 製造・販売/修理 三味線・鼈甲撥・尺八・太鼓 〒240-0022 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西久保町197-1 TEL 045(713)4319 FAX 045(741)4796 Hhttp://www.syamisen.com/

部門別講習会

部門別講習会(踊)

に参加して



東京支部長
棚橋 保

踊りの部門は一回目一月二十七日、二回目二月六日と行なわれ、両日参加した。

「二十二年度版しおり」に書かれている事柄を土台に以下三点に絞って意見を述べてみたい。

第一に最も大切な事は基本が第一で基本の徹底を原則と考える(29頁)。第二に男踊りは汚れた鱈を取る姿を(イ)きれいに表現し(ロ)写実的でユーモアがあり(ハ)安来節の

リズムにあい、まとまりが良く(二)その所作等の技量を具備すること(31頁③)。関連して「踊りの指導について」(45頁)。

第三に「明治く大正にかけて安来節の大きな飛躍と共に鱈掬い踊りもさらに改良、工夫がなされた。」(46頁)。

一、踊りの基本中の基本とは何か、思うにそれは中腰の姿勢だと思ふ。それではどういう中腰の姿勢か、それは上半身と下半身との角度が同じである事。①その姿勢を堅持して歩

稽古を積んで溜めのある歩みに到る。②上下バランスの取れた姿勢でザルを使う、その他の所作でも一貫して維持する事だと思ふ。

二、速調子のリズムに乗り、野趣に富み、ユーモアがある等を身につけるには①口、手、足で四分の二拍子を唱える不断の努力が必要だと思ふ。

②自分の踊りが唄、絃、鼓の伴奏に

リズムにあい、まとまりが良く(二)その所作等の技量を具備すること(31頁③)。関連して「踊りの指導について」(45頁)。

踊りながら合っている、乗っているかどうか、どこかで検証するかも研究してみる必要がある。③そもそも自分の踊りの型が見ているお客様に受けてもらえているものか、点検する必要があると思ふ。

三、踊りの改良・工夫について、この改良・工夫も伝承の大切な流れであると思ふ。したがって我流を固守し、それでよしとするのではなく、進取の気風で改良・工夫がされていくべきだと思ふ。

私は一日YMCAのボランティアグループに呼ばれ、踊る機会があった。その内の一人の方が、踊り終わったら次のような句を作って下さった。

「どじょう掬い踊りと掛けて、新鮮な有機野菜と解く
その心はどじょう(土壌)がいい」

より良いどじょうの改良・工夫を重ねて行きたい。

踊りながら合っている、乗っているかどうか、どこかで検証するかも研究してみる必要がある。③そもそも自分の踊りの型が見ているお客様に受けてもらえているものか、点検する必要があると思ふ。

三、踊りの改良・工夫について、この改良・工夫も伝承の大切な流れであると思ふ。したがって我流を固守し、それでよしとするのではなく、進取の気風で改良・工夫がされていくべきだと思ふ。

私は一日YMCAのボランティアグループに呼ばれ、踊る機会があった。その内の一人の方が、踊り終わったら次のような句を作って下さった。

部門別講習会を終えて

を終えて

初めての試みである部門別講習会に、受講申し込みをしたものの、平素から指導について自信は無く、不安と緊張の中で参加致しました。

唄の種目では参加者全員が師範字余り選定歌詞を一本、踊り唄を一本唄い、指導する場合の注意点を指摘され、厳しい中でも参加者一人ひとりの持ち味を評価されました。

また歌詞の中で「この点を重視する事により、さらに唄の味が増す」との理解しやすい指導内容でした。

絃の講習会に於いても唄と同じく、地方は指導部の先生方が務めて下さったので、緊張の方が大きく、余裕はありませんでした。指導部の先生方は事前に講習会内容の検討を十分になされている事が例

年師範研修会との違いに現れている事に気づきました。双方の講習会に於いては、日頃疑問に思っている事や、しおり内の解釈の仕方等、次々に質問があり、その都度先生方がそれぞれご自分のお考えをわかり易く説明して頂き、真剣な取り組み、緊張感の中にも和やかな雰囲気での時間の経過もありに早く、充実した講習会を終えました。終了してみずと部門別講習会の必要性を強く感じています。

技術面の向上と同じく各支部においては入会された会員さんとの信頼関係、会員同志の輪、楽しく稽古に参加でき、資格審査に挑戦する目的を自ら持つて頂き、バランスのとれた指導が継続につながると感じつつ、更なる努力を続けたいと思ひます。

最後に地方を務めて下さいました先生方、長時間にわたる誠にありがとうございます。

年師範研修会との違いに現れている事に気づきました。双方の講習会に於いては、日頃疑問に思っている事や、しおり内の解釈の仕方等、次々に質問があり、その都度先生方がそれぞれご自分のお考えをわかり易く説明して頂き、真剣な取り組み、緊張感の中にも和やかな雰囲気での時間の経過もありに早く、充実した講習会を終えました。終了してみずと部門別講習会の必要性を強く感じています。

技術面の向上と同じく各支部においては入会された会員さんとの信頼関係、会員同志の輪、楽しく稽古に参加でき、資格審査に挑戦する目的を自ら持つて頂き、バランスのとれた指導が継続につながると感じつつ、更なる努力を続けたいと思ひます。

最後に地方を務めて下さいました先生方、長時間にわたる誠にありがとうございます。

鼓の研修会に参加して

に参加して

今回の研修会では対象者が師範以上という事もあり、普段聴く事が出来ない大師範以上の先生方の鼓の技術や御意見を聴く事ができ、参考になりました。ただ、研修会の目的が「指導者としての技術向上」という事でしたので、その面から考えるともう少し具体的な指導をして頂けたら、なお良かったと思います。

例えば、初心者に半間と常間の違いを教える時にどのようにしたら理解しやすいか、

また指導者としての教えるポイントなど細かい面でも少し説明して頂けたら役立てる事が出来ると思ひました。しかし、指導部の先生方から直接指導を受ける事が出来る機会が少ない今日、このような研修会は私のような者にとりましてはありがたく貴重であります。様々な流派もあり、御苦勞な面もあると思ひますが、これからこのような講習会を開いて頂けると嬉しく思ひます。

最後に私のような新参加者が生意気な事を述べます事、更には乱筆、愚文をお許し下さい。

また指導者としての教えるポイントなど細かい面でも少し説明して頂けたら役立てる事が出来ると思ひました。しかし、指導部の先生方から直接指導を受ける事が出来る機会が少ない今日、このような研修会は私のような者にとりましてはありがたく貴重であります。様々な流派もあり、御苦勞な面もあると思ひますが、これからこのような講習会を開いて頂けると嬉しく思ひます。

最後に私のような新参加者が生意気な事を述べます事、更には乱筆、愚文をお許し下さい。

最後に私のような新参加者が生意気な事を述べます事、更には乱筆、愚文をお許し下さい。

最後に私のような新参加者が生意気な事を述べます事、更には乱筆、愚文をお許し下さい。

最後に私のような新参加者が生意気な事を述べます事、更には乱筆、愚文をお許し下さい。

最後に私のような新参加者が生意気な事を述べます事、更には乱筆、愚文をお許し下さい。

最後に私のような新参加者が生意気な事を述べます事、更には乱筆、愚文をお許し下さい。



財団法人 日本民謡協会

平成23年度 民謡民舞首都圏大会

東京・神奈川・千葉・埼玉

■日時 平成23年 5月7日(土)・8日(日)

午前9時開場

■会場 江戸川区総合文化センター (大ホール)

■主催 財団法人 日本民謡協会 民謡民舞首都圏大会実行委員会

■後援 財団法人 日本民謡協会

入場券 2,000円 (2日通用券)

申込み問合せ先

財団法人 日本民謡協会

安来節保存会関東地区

安来節関東連合会関東支部

安来節保存会関東支部 浅草事務局

〒111-0032 東京都台東区浅草1丁目18-3 遠藤ビル3F

TEL・FAX 03-3847-0215



出演者 財団法人 日本民謡協会安来節保存会関東若岑鼓蝶会社中

財団法人 日本民謡協会 平成23年 新春民謡ショー 平成23年1月22日 於 メルパルクホール

支部紹介



大田支部長 勝部 一 央

昭和五十四年九月に支部創立の機運が高まり、神門支部に所属していた会員と新規加入会員合わせて四十五名で発足し、以後年々会員が増加し、平成三年度には百三十名に達し、隆盛期を迎えた。この間神門支部の故勝部知先生、佐藤幸次郎先生を始め先輩諸賢のご協力、ご指導があったの賜と感謝して、平成一〇年過ぎより会員減少傾向が強まり、百名をきるようになり最近では発足当時の五十名前後の規模にまで逆戻りする現状となっています。区切りとして平成二十一年には創立三十周年の記念発表会を挙行し、気持ちを新たにいたしました。

会員の声コーナー

親子三代安来節

広島南支部 数井 安紅

運動免許を取った頃、優勝大会に出場する母を乗せ、応援に来た事が有ります。その母が病の為、保存会を脱会、二年前より私と息子が入会させていた。親子で優勝大会に出場させていただき、親が優勝した。広島南支部の少年部も各部門で優勝・準優勝を獲得し、これもご指導してくださる井上先生のおかげと感謝致しております。



昨年の秋、地元の農業祭の青少年意見発表会で高南小学校代表で「僕と安来節」というテーマで得意げに発表しておりました。諸先生方、親子共々よろしくご指導ください。ませ。

僕と安来節



広島南支部 数井 響

僕が安来節を習い始めたきっかけは友達からです。三味線に合わせて踊る姿がとってもおもしろいなと思っただけです。その曲は聞き覚えのある曲でした。僕が三歳の頃、祖母が習っていた安来節の練習によくついて行き、おばさん達が唄っていた事を少し覚えています。その時はおばさん達が歌う唄なんだなあと感じていました。まさか僕が安来節を習うなんて思いもしませんでした。始めてみると奥が深く練習して良かったと思えます。練習は学校から帰って来た後、ソフトボールの練習や試合の無い土日に行っています。一緒に習っている仲間五人と唄・三味線・踊り・銭太鼓を優勝大会に向けて練習にはげんでいます。おとしの優勝大会は二級の部・唄で優勝しました。

初めての舞台でも緊張はしたが、大きな声を出して唄う事が出来て気持ち良かったです。昨年、三味線・唄・踊りで優勝したのと踊りで三位になりました。仲間も鼓・唄・三味線・踊りで入賞出来ました。自分の結果もうれしかったけれど、それ以上にみんなの喜びを分かち合えた事がとてもうれしかったです。

いつも先生に「舞台では協調性が大切ですよ。一人でもリズムがずれてしまえばバラバラに聞こえてしまいます。みんなが気持ちを合わせて」とよく注意されます。その気持ちが一つの作品になると感じます。舞台を降りた後、祖母の知り合いに「小さい頃、おばあちゃんと一緒に来ていたね。大きくなったらね。よくがんばったね。」と声を掛けてもらい、なんだかすくすくしたい気持ちになりました。

インドネシア赴任中

国際協力機構(JICA)祭で

どじょう揃い踊りを踊る



東京支部 岡田 美智子

私は、開発途上国に対するわが国の政府開発援助事業の一環として国際協力機構よりインドネシア国・南スラウエンシ州タカラール県自治省商工局へ手工芸新製品開発と技術指導の分野

で赴任(平成二十一年一月〜二十三年一月)してまいりました。余暇を利用してあらゆる場所で折り紙、盆踊り等と併せてどじょう揃い踊りを踊ってきました。そんな折、平成二十二年十月十六日「JICA祭&Festival Japan」が行われました。当日、多くの現地の人々の参加のもと賑やかで大盛況でした。特に私の踊ったどじょう揃い踊りは踊っている時に声がかかったり、笑いが出たり、非常に楽しんでいただき、アンコールという声と共に手拍子までありました。踊り終了後「一緒に写真を撮る」と多くのインドネシアの人達から写真撮影を求められました。

後日、国際協力機構のボランティアや大学で日本語を指導している専門家から「美智子さんのどじょう揃い踊りの写真が大学にずらりと貼ってあり、その前で生徒達がどじょう揃い踊りについてあれこれ話合っていました」と言われました。私の研修仲間もどじょう揃い踊りはとても面白かったし、盆踊りは日本人とインドネシア人が一緒になって踊れた。「祭」のおかげで初めて日本の文化が経験でき、本当に良かったと話してくれました。私はどじょう揃い踊りのお稽古を通して、人生を生き抜くうえで大切な事を教わっていると思っております。これからどじょう揃い踊りと共に将来の夢と希望に向かって勇気を持って歩みたいと思っております。

事務局からのお知らせ

1月〜2月に師範以上の方々を対象に部門別講習会を開催致しました。この講習会について指導部に対し、率直なご意見・ご要望等をお伺いし、今後に活かしたいと思っております。何かございましたら匿名でも構いませんので、文書にてお知らせ下さい。

平成23年唄い初め会支部競演結果

- 安来市長賞
- 安来市議会議長賞
- 安来市観光協会賞
- 安来商工会議所会頭賞
- BSS山陰放送賞
- 足立美術館賞
- 家納喜賞
- 安来節演芸館賞

東京支部設立15周年

安来節・民謡発表会

- 日時 平成23年10月15日(土) 午前10時〜午後5時
 - 会場 東京都府中市立 グリーンホール (京王線府中駅隣り)
- 関心のある方 ご連絡下さい
▶東京支部事務局 TEL 03-3361-0488